学校番号	2002

令和８年度　学 探究科

教科	学 探究科	科目	（学）探究ナビⅠ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作課題、プリント、など。						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

探究ナビⅠのテーマ：人とつながる

「生きる力の基礎（社会人基礎力）となるコミュニケーション能力を育成する。」
アイスブレイクによって人とつながる力、また、コミュニケーション能力の基礎となる「話す」力や「聴く」力を身につけ、それらを基盤としながら課題を「見つけ」「調べ」「まとめ」「伝える」力を育てます。そしてお互いの「存在の肯定」と「対話」によって生み出されたものをチームで「表現」することに挑戦します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
「アイスブレイク」や「コミュニケーション基礎」、「コミュニケーション応用」の基礎知識を身につけ、これからの社会で必要なことや現在の社会が抱える課題を見つける。

【思考力・判断力・表現力等】
課題を解決するために必要なものは何か、課題を多角的な視点で捉え、ワークや活動を繰り返しながら解決方法について探究し、お互いの「存在の肯定」と「対話」によって生み出されたものをチームで「表現」する。

【学びに向かう力、人間性等】
自己の主体性を活かしながらチームで取り組むことで課題解決ができることを体験し、驚きや喜び等の感動を課題解決の達成によって確かな自信を得て、社会の中で他者と協働しながら自己の可能性を実現していく力にする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	探究ナビの授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	探究ナビの授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	探究ナビの授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、他者と協働しながら、集団の中で主体的に行動することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	アイスブレイク	アイスブレイクを学ぶ 名前と言葉の大切さ 集団づくり	a:アイスブレイクについて理解している。 b:アイスブレイクと探究の授業の関連性について説明できる。 c:アイスブレイクを、実生活の具体的な場面で役立てることを想定できる。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	コミュニケーションⅠ（基礎）	【人間関係論】 伝えることと受け止めること 肯定的な受容と応答 他者との協働 【防災】 災害と生活 防災シミュレーション	a:人間関係論について説明できる。 b:ゲームやワークの内容を踏まえ、人間関係における提案をすることができる。 c:人間関係論の技術を、日常の人間関係の中で創造的に応用できる。	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価
夏休み休業期間 ＊キャンパスメンバーズを利用した課題に取り組む						
2学期	コミュニケーションⅡ（応用編）	【キャリア教育】 働く意義について 適性検査と仕事調べ 仕事カルタ 就職説明会の準備 １つの職業を深く調べる 発表の準備とリハーサル 就職説明会	a: 働く意義について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。 b: 働くことに関し、多面的・多角的に考察し、社会の変化と関連付けて説明できる。 c:学びを自身の仕事選びに生かせることができ、今からの取り組みを具体的に説明できる。	ワークシート 活動評価 プレゼン発表	ワークシート 活動評価 プレゼン発表	ワークシート 活動評価 プレゼン発表
	コミュニケーションⅢ（総合編）	【演劇】 演劇について 演劇ワークショップ	a:集団の成長過程について説明することができる。 b:集団の成長について、劇づくりの体験と関連付けて具体的に述べることができる。 c:集団の成長過程の理解を応用して、課題のある集団に対する見立てと解決策を提示できる。	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価

3学期	コミュニケーションⅢ（総合編）	【演劇②】 劇団旗揚げと役割分担 台本作りに取り組む PDC A サイクルの活用 相互評価の活用 発表準備 クラス発表 全体発表	a:集団の成長過程について説明することができる。 b:集団の成長について、劇づくりの体験と関連付けて具体的に述べることができる。 c:集団の成長過程の理解を応用して、課題のある集団に対する見立てと解決策を提示できる。	ワークシート 活動評価 パフォーマンス課題	ワークシート 活動評価 パフォーマンス課題	ワークシート 活動評価 パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度